

授 業 科 目 名	中国経済特論																																
学 期 単 位 数	通 年 4 単 位	担 当 者 職 氏 名	准 教 授 尹 清 洙																														
授 業 概 要 と テ ー マ	<p>「現代中国経済論」</p> <p>中国は現在持続的な高度成長を遂げながらも、もう一方では格差や環境問題などの様々な問題を抱えている。本講義では、現代中国経済が抱えている諸問題を歴史的・理論的・実証的に明らかにすることを課題としている。</p> <p>なお、たまには最近の中国語文献を使用するので、一定の中国語読解能力があることが望ましい。</p>																																
到 達 目 標	<p>① 中国漸進改革の歴史的な意味についての理解を深める。</p> <p>② 中国経済改革の成果と課題に対する理解を深める。</p> <p>③ 実証経済分析の基礎的な手法を習得する。</p>																																
授 業 計 画	<table border="0"> <tr> <td>1. イントロダクション</td> <td>16. 第3章：外資企業</td> </tr> <tr> <td>2. 歴史的遺産と初期条件</td> <td>17. 第4章：マクロコントロール</td> </tr> <tr> <td>3. 開発戦略と開発政策</td> <td>18. 第5章：金融改革</td> </tr> <tr> <td>4. 経済発展と構造変化</td> <td>19. 第6章：環境政策</td> </tr> <tr> <td>5. 成長と分配</td> <td>20. 第7章：地域格差</td> </tr> <tr> <td>6. 安定性の追及</td> <td>21. 終章：国際関係</td> </tr> <tr> <td>7. 市場体制への移行</td> <td>22. 数量経済分析のまとめ</td> </tr> <tr> <td>8. 企業制度と企業改革</td> <td>23. これからの中国：科学的発展観</td> </tr> <tr> <td>9. 対外開放と経済発展</td> <td>24. 節約・循環型への取り組み</td> </tr> <tr> <td>10. 開発の政治経済学</td> <td>25. 消費主導の成長への模索</td> </tr> <tr> <td>11. 中国経済開発の評価と展望</td> <td>26. 格差社会からの是正を目指して</td> </tr> <tr> <td>12. 開発経済学のまとめ</td> <td>27. 胡錦涛政権の課題</td> </tr> <tr> <td>13. 中国経済の数量分析：序論</td> <td>28. 国際関係の変貌 (1)</td> </tr> <tr> <td>14. 第1章：国有企業</td> <td>29. 国際関係の変貌 (2)</td> </tr> <tr> <td>15. 第2章：郷鎮企業</td> <td>30. まとめ</td> </tr> </table>			1. イントロダクション	16. 第3章：外資企業	2. 歴史的遺産と初期条件	17. 第4章：マクロコントロール	3. 開発戦略と開発政策	18. 第5章：金融改革	4. 経済発展と構造変化	19. 第6章：環境政策	5. 成長と分配	20. 第7章：地域格差	6. 安定性の追及	21. 終章：国際関係	7. 市場体制への移行	22. 数量経済分析のまとめ	8. 企業制度と企業改革	23. これからの中国：科学的発展観	9. 対外開放と経済発展	24. 節約・循環型への取り組み	10. 開発の政治経済学	25. 消費主導の成長への模索	11. 中国経済開発の評価と展望	26. 格差社会からの是正を目指して	12. 開発経済学のまとめ	27. 胡錦涛政権の課題	13. 中国経済の数量分析：序論	28. 国際関係の変貌 (1)	14. 第1章：国有企業	29. 国際関係の変貌 (2)	15. 第2章：郷鎮企業	30. まとめ
1. イントロダクション	16. 第3章：外資企業																																
2. 歴史的遺産と初期条件	17. 第4章：マクロコントロール																																
3. 開発戦略と開発政策	18. 第5章：金融改革																																
4. 経済発展と構造変化	19. 第6章：環境政策																																
5. 成長と分配	20. 第7章：地域格差																																
6. 安定性の追及	21. 終章：国際関係																																
7. 市場体制への移行	22. 数量経済分析のまとめ																																
8. 企業制度と企業改革	23. これからの中国：科学的発展観																																
9. 対外開放と経済発展	24. 節約・循環型への取り組み																																
10. 開発の政治経済学	25. 消費主導の成長への模索																																
11. 中国経済開発の評価と展望	26. 格差社会からの是正を目指して																																
12. 開発経済学のまとめ	27. 胡錦涛政権の課題																																
13. 中国経済の数量分析：序論	28. 国際関係の変貌 (1)																																
14. 第1章：国有企業	29. 国際関係の変貌 (2)																																
15. 第2章：郷鎮企業	30. まとめ																																
学 生 に 対 す る 評 価	<p>【成績評価の基準】</p> <p>A (優) 所期の学習目標を十分に達成している。</p> <p>B (良) 不十分点はあるが、初期の学習目標をかなり達成している。</p> <p>C (可) 相当の欠点は見受けられるが、目標の最低限は満たしている。</p> <p>D (不可) 多くの項目において望ましい水準に達していない。</p> <p>【成績評価の方法】</p> <p>出席 …… 30 %</p> <p>発表内容 …… 70 %</p>																																
テ キ ス ト	<p>中兼和津次著『中国経済発展論』有斐閣、1999年。</p> <p>大西広・矢野剛編『中国経済の数量分析』世界思想社、2003年。</p> <p>山口・郭著『チャイナマネーの時代』東洋経済新報社、2008年。</p>																																
参 考 文 献	適宜紹介します。																																
備 考																																	